

科目名: 社会福祉援助技術論Ⅱ				担当教員 氏名: 清水 剛志	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次 前期	専門必修科目	講義	必修	社会福祉士基礎受験資格 福祉心理士
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
相談援助についてよって立つ基盤と専門性について考える。ソーシャルワークの固有性、有用性について考える。対象者を取り巻く環境に着目した支援の在り方を考える。				エンパワメント ストレングス エコロジカル	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 9	
A 知識・理解力		相談援助の基礎的な知識を習得する。			
B 専門的技術		相談援助の基礎的な技術を習得する。			
D 問題解決力		対象者の課題に対して自らの価値観との相違について考えることができる。			
G 倫理観		相談援助の概念を学び、人権尊重に基づいた倫理観を身につける。			
H コミュニケーション力		対象者、協働者との間に円滑な関係が構築できる。			
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 50 %	発表: %	実技試験: %	その他: 50 %	
特記事項: 7回目の授業までの授業態度にて中間評価。最終のレポートを含めて総合評価する。					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 最後の講義時にレポート提出。授業態度にて評価する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 評価をつけて返却します。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容		学習に必要な 時間(分)
①社会福祉士の役割と意義 社会福祉士の専門性			【予習】テキスト(社会福祉士の専門性)を読む。 【復習】①の復習		【復習】30分
②精神保健福祉士の役割と意義 精神保健福祉士の専門性			【予習】テキスト(精神保健福祉士の専門性)を読む。 【復習】②の復習		【復習】30分
③相談援助の理念 人権尊重			【予習】テキスト(相談援助の理念 人権尊重)を読む。 【復習】③の復習		【復習】30分
④相談援助の理念 社会正義			【予習】テキスト(相談援助の理念 社会正義)を読む。 【復習】④の復習		【復習】30分
⑤相談援助の理念 利用者本位			【予習】テキスト(相談援助の理念 利用者本位)を読む。 【復習】⑤の復習		【復習】30分
⑥相談援助の理念 尊厳の保持			【予習】テキスト(相談援助の理念 尊厳の保持)を読む。 【復習】⑥の復習		【復習】30分
⑦相談援助の理念 権利擁護			【予習】テキスト(相談援助の理念 権利擁護)を読む。 【復習】⑦の復習		【復習】30分
⑧相談援助の理念 自立支援			【予習】テキスト(相談援助の理念 自立支援)を読む。 【復習】⑧の復習		【復習】30分
⑨相談援助の理念 社会的包摂			【予習】テキスト(相談援助の理念 社会的包摂)を読む。 【復習】⑨の復習		【復習】30分
⑩相談援助の理念 ノーマライゼーション			【予習】テキスト(相談援助の理念 ノーマライゼーション)を読む。 【復習】⑩の復習		【復習】30分
⑪相談援助における権利擁護の意義			【予習】テキスト(相談援助における権利擁護の意義)を読む。 【復習】⑪の復習		【復習】30分
⑫相談援助にかかわる専門職の概念と範囲 福祉行政における専門職			【予習】テキスト(相談援助にかかわる専門職の概念と範囲)を読む。 【復習】⑫の復習		【復習】30分
⑬相談援助にかかわる専門職の概念と範囲 民間の施設・組織における専門職			【予習】テキスト(相談援助にかかわる専門職の概念と範囲)を読む。 【復習】⑬の復習		【復習】30分
⑭総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容			【予習】テキスト(総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容)を読む。 【復習】⑭の復習		【復習】30分
⑮総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容			【予習】テキスト(総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容)を読む。		【復習】30分
使用テキスト: 新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職(中央法規)			その他参考文献など: ソーシャルワーク入門—相談援助の基盤と専門職(ミネルヴァ書房) 空閑浩人 編著		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):					